

2026年9月9日

2026年度（第8回）福武教育文化賞の決定について

公益財団法人 福武教育文化振興財団（代表理事理事長 松浦俊明）は、2026年度の受賞者を下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

贈賞式は10月31日（土）13時30分から岡山プラザホテル（岡山市中区浜）で開催いたします。

<受賞者>

▶ 福武教育文化賞（2個人、2団体）

徳田 旭昭 氏（専門分野：作曲家・音楽家）

成清 仁士 氏（専門分野：建築史・意匠学・

歴史的環境デザイン（公民学連携によるまちづくり））

かつやま町並み保存事業を応援する会（会長 行藤 公典 氏）

認定NPO法人ポケットサポート（代表 三好 祐也 氏）

福武教育文化賞について

福武教育文化振興財団は、岡山県の実育文化の振興による魅力的で豊かな人づくり、地域づくりに貢献することを目的とし、表彰や助成、自主事業等を行っています。この表彰事業では、高い志を持ち、先駆的で地域への波及効果がある取り組みを行う個人・団体を対象に顕彰しています。

昭和62年度から平成30年度まで、教育と文化の2部門に分け、福武哲彦教育賞69件、谷口澄夫教育奨励賞66件、福武文化賞34件、福武文化奨励賞71件に贈賞してきましたが、令和元年度より4つの賞を「福武教育文化賞」に一本化しています。表彰数は今年度の受賞者を含め、累計272件となります。

また、本賞の特色として、受賞者の皆さまの活動がさらに広がり、未来へと繋がっていくよう継続的な支援を目的とした助成制度「福武教育文化賞 受賞者フォロー助成」を設けております。受賞の翌年より3年間、申請に基づき助成を行い（年間上限30万円）、受賞者の皆さまが主体的に岡山県内で取り組む教育や文化芸術、地域資源を活用する活動を支援いたします。



2026年度 福武教育文化賞

受賞者の皆さま

敬称略・五十音順

とくだ てるあき

徳田 旭昭

専門分野 | 作曲家・音楽家

表彰理由

若手作曲家として、国内外の著名なコンクールで高い評価を受ける一方、その専門性を地域社会にも積極的に還元している。県内の学校へ編曲楽譜を提供するほか、高校・大学向けの楽譜教材や創作学習教材づくりにも取り組んでいる。市民から歌詞を募って楽曲化する作品展の開催や、岡山県内で初めてとなる現代音楽の演奏家団体を立ち上げるなど、創作と教育を一体的に展開し、岡山県の音楽文化・音楽教育の発展に貢献している。



なりきよ ひとし

成清 仁士

専門分野 | 建築史・意匠学／歴史的環境デザイン
(公民学連携によるまちづくり)

表彰理由

倉敷美観地区を拠点として活動し、まちづくり団体・商店街・行政・学生など多様な世代との関係構築を重ねてきた。くらしきマップスの制作やまちあるきを通じてコミュニティの活性化に貢献する一方、地域資源を生かした探究学習や海外専門家を招いた学びの機会づくりに取り組んでいる。こうした活動で培ったつながりを生かし、官民連携のエリアプラットフォームの設立へと結びつけるなど、次世代育成と世代間交流の両面から地域振興に貢献している。



かつやま町並み保存事業を応援する会

表彰理由

出雲街道の宿場町・城下町として栄えた旧勝山町（現・真庭市勝山）の町並み保存地区を拠点に、「のれん」や「お雛まつり」など地域の文化と住民の暮らしを一体化させたまちづくりを30年にわたり推進してきた。1996年の発足以来、地域住民とともに「のれん」を掛け継ぐ仕組みづくりや無料案内所「頼山亭(かざんてい)」の運営、のれんマップ・スタンプラリーの企画運営など、地域を盛り上げる取り組みを続けており、こうした地道な活動により地域活性化に大きく貢献している。



認定NPO法人ポケットサポート

表彰理由

長期療養を必要とする子どもたちに対し、岡山県内の医療機関と連携し、オンラインや病院訪問による学習支援・復学支援を継続的にを行っている。専門人材による質の高い支援体制を整えるとともに、岡山県教育庁が設置した長期療養児教育サポート相談窓口で専門家チームの一員として参画し、サポートマニュアルの作成に協力するなど、教育福祉の向上に寄与している。また、学生ボランティアの育成にも力を入れており、卒業生たちが小児医療や特別支援教育の現場で活躍するなど次世代育成への波及効果も期待される。

